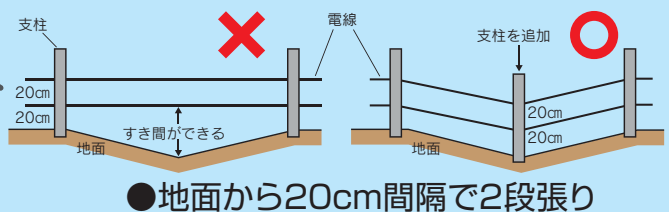
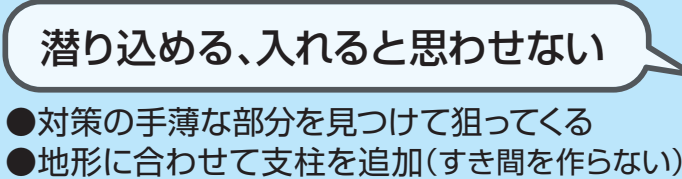
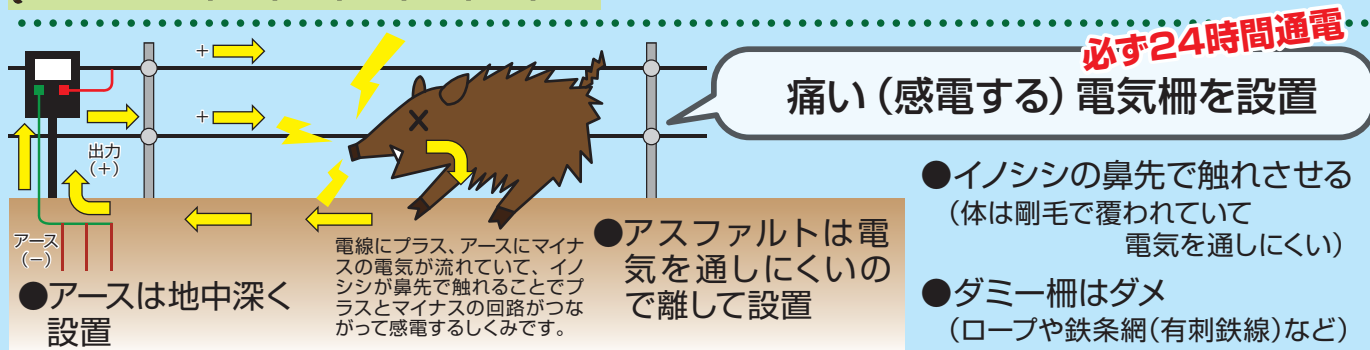


防護

野生動物(イノシシ)から『守る』ために

農作物への被害を減らすのはもちろん、集落周辺で人的被害を出さないようにするため、守りたい対象を電気柵などの防護柵で確実に囲いましょう

その防護柵、適切な設置と維持管理ができていますか？



対策 ① 電気柵等の防護柵を設置

防護柵を適切に設置して、イノシシが田畑へ侵入しないようにしましょう。

対策 ② 電気柵等の防護柵の維持管理

防護柵の効果を持続させるには、こまめな点検と補修が必要です。

(管理が悪ければ効果はどんどん低下します。)

※電気柵は電気ショックによる痛みをイノシシに覚えさせて柵に近付かなくさせるもので、痛くない(通電していない、電圧が低い)電気柵は「ただのヒモ(無いのと一緒)」です。

※金網柵も点検補修を怠ると潜り込みなどにより突破されます。

防護柵の設置はゴールではなく、設置後の維持管理が大事